

令和3年8月25日発行
発行/宇佐市議会
直通:0978-32-2328
Fax:0978-32-1437

宇佐市議会



生活と共に生きる文化財「石橋」

院内町は恵良川が南北に流れており、そこに流れ込んでいる多くの支流が深い谷を形成している。石橋が多いのは、その谷に沿って点在する集落を結ぶ役割として橋が不可欠であり、川が急流で木橋では流されてしまうためという背景がある。写真の荒瀬橋は、筆者が幼少期から生活の中で使用していた石橋で、長い橋脚と美しい2連アーチを描き、橋高18.3mと院内地域最高を誇る。石橋を架けるには高い技術が必要で、院内町には段々畑の石垣や水路を造るため、石工の技術があり「匠の技」があった。なかでも石橋王と呼ばれた名棟梁松田新之助が手掛けた石橋が有名で、この荒瀬橋もその中のひとつだ。その他の橋もそれぞれに風格を持ち、ほとんどの橋が今も渡られていることが、まさに「生活と共に生きる文化財」といえる。本年7月から市のホームページに「宇佐市いんない石橋PR動画」が掲載され、コロナ禍で在宅時間が増える中、家にいながらも宇佐市院内町の石橋が楽しめる。いつもの日常に戻ったら、石工の情熱と時間の流れを感じながら石橋観光をお勧めしたい。

(河野健治朗)

宇佐市
石橋動画



5月臨時会

○正副議長・常任委員・特別委員の改選結果

スマホも対応!

6月定例会

○一般会計・特別会計補正予算を可決

議会ホームページ

目次	5月臨時会の概要・正副議長・常任委員・特別委員の改選結果……………P.2~3
	6月定例会の概要・委員会の審査結果・本会議の審議結果……………P.4~5
	6月定例会の一般質問……………P.5~11
	全国表彰・全員協議会の内容・メンバー紹介・9月定例会予定ほか……………P.12

宇佐市議会 検索



5月臨時会 ~新しい議会の構成決まる~

5月11日に臨時会を開催しました。
議長・副議長の辞職により選挙を行った結果、議長に衛藤博幸氏、副議長に井本裕明氏が就任しました。
また、委員の任期満了に伴い、議会運営委員会、各常任委員会、各特別委員会の委員の改選を行いました。
議案については、一般会計補正予算及び各種税条例関係の専決処分案3件と契約案1件、監査委員などの人事案3件が上程され、質疑・討論・採決を行い、全ての議案が承認・可決・同意されました。



副議長 井本裕明



議長 衛藤博幸

このたび、令和3年5月宇佐市議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により議長並びに副議長の要職に就任いたしました。微力ではございますが、責務の重大さを自覚し、市民の負託に応えるため、市民本位の議会運営に誠心誠意努めてまいります。

さて、世界各地で新型コロナウイルス感染症による影響が拡大し、本市においても、市民の皆様の日常生活や経済活動に甚大な影響が出ております。市議会といたしましても、市民の生活と健康を守るため、二元代表制の一翼を担う議会の監視機能を果たしつつ、市長と協力しながら、この危機的状況に全力を挙げて取り組んでまいり所存です。

広報紙「うさ議会」は、議会活性化特別委員会委員9名が、議会に関する情報を的確かつ親しみやすい紙面に編集してお伝えしてまいりますので、ご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。
今後とも、市議会に対しまして、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新たな各特別委員会の委員

議会活性化特別委員会（9人）

- ◎若山雅敏 ○河野健治朗 多田羅純一
- 和気伸哉 赤野道和 吉田泰秀
- 川谷光紹 河野睦夫 辛島光司

行財政改革推進特別委員会（7人）

- ◎衛藤義弘 ○和気伸哉 林 寛
- 多田羅純一 井本裕明 若山雅敏
- 中本 毅

企業誘致推進特別委員会（7人）

- ◎赤野道和 ○今石靖代 河野健治朗
- 若山雅敏 永松 郁 井本裕明
- 新開洋一

グリーンパークホテルうさに関する調査特別委員会（10人）

- ◎和気伸哉 ○若山雅敏 赤野道和
- 中本 毅 吉田泰秀 井本裕明
- 今石靖代 衛藤義弘 河野睦夫
- 川谷光紹

◎は委員長 ○は副委員長

新たな一部事務組合議会の議員

《宇佐・高田・国東広域事務組合協議会議員》

- 衛藤博幸
- 浜永義機
- 大隈尚人
- 辛島光司
- 井本裕明
- 河野睦夫

《大分県後期高齢者医療広域連合協議会議員》

- 和気伸哉

各行政委員の選任

《公平委員会委員》
小野 寿 明氏
(安心院町古市)

《固定資産評価員》
恵 良 由 美氏
(小向野)

《監査委員(議会選出)》
多田羅 純 一

各委員会の新構成

議会運営委員会、各常任委員会の新たな委員が決まりました。

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会の会期・議事日程のほか、議会運営に関する事項を協議するとともに、議長の諮問に関する調査などを行う機関として設置しています。

◎浜永義機 ○河野睦夫
和気伸哉 辛島光司
井本裕明 多田羅純一
大隈尚人

常任委員会

議案等が多岐にわたるため、部門別に審査を分担し、専門的かつ詳細な審査を行う機関として常任委員会を設置しています。本市議会では「総務」「文教福祉」「産業建設」という3つの常任委員会で構成されています。

総務

常任委員会



◎ 川谷光紹
かわたにこうしょう

○ 若山雅敏
わかやままさとし



市民れんごう



◎ 浜永義機
はまながよしき

求道会



◎ 林寛
はやしひろし

新流会



○ 今石靖代
いまいしやすよ

日本共産党



◎ 辛島光司
からしまこうじ

光りの会



◎ 井本裕明
いもとひろあき

求道会

文教福祉

常任委員会



◎ 河野健治朗
かわのけんじろう

○ 和気伸哉
わきしんや



求道会



◎ 中本毅
なかもとたけし

令和新政会



◎ 赤野道和
あかのみちかず

日本共産党



○ 高橋宜宏
たかはしよしひろ

至誠会



◎ 大隈尚人
おおくまなおと

市民れんごう



◎ 中村明美
なかむらあけみ

政友会

産業建設

常任委員会



◎ 吉田泰秀
よしだやすひで

○ 多田羅純一
ただらじゅんいち



市民れんごう



◎ 衛藤義弘
えとうよしひろ

公明党



◎ 永松郁
ながまついくる

知新会



○ 衛藤博幸
えとうひろゆき

政友会



◎ 新開洋一
しんがいよういち

知新会



◎ 河野睦夫
かわのむつお

政友会

6月定例会の概要

令和3年6月定例会を6月1日から24日までの24日間の会期で開催し、上程した議案14件をすべて原案のとおり承認・可決・同意しました。また、請願1件を採択、1件を継続審査としたほか、意見書案2件を原案のとおり可決しました。

〔本会議第1日〕

- ①市長の施政方針 ②議案の上程及び説明 ③継続審査、調査となっている付託事件の報告 ④特別委員会の設置

〔本会議第2日〕

- ①追加議案の上程及び説明 ②一般質問

〔本会議第3～5日〕

- ①一般質問

〔本会議第6日〕

- ①議案質疑 ②議案の委員会付託

〔本会議第7日〕

- ①各常任委員会の議案等の審査報告の後、質疑・討論・採決 ②特別委員会委員の選任 ③選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙 ④追加議案（人事案）上程の後、質疑・討論・採決 ⑤意見書案（2件）上程の後、質疑・討論・採決

本会議の審議結果

番号	件名	付託委員会	結果
議第59号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度宇佐市一般会計補正予算（第2号））	文教福祉	原案承認
議第60号	令和3年度宇佐市一般会計補正予算（第3号）	各常任委員会	原案可決
議第61号	令和3年度宇佐市水道事業会計補正予算（第1号）	産業建設	〃
議第62号	令和3年度宇佐市下水道事業会計補正予算（第1号）	〃	〃
議第63号	宇佐市固定資産評価審査委員会条例等の一部改正について	総務	〃
議第64号	宇佐市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	〃	〃
議第65号	宇佐市スポーツ施設条例の一部改正について（はちまんの郷グランドゴルフ・テニスコート）	産業建設	〃
議第66号	宇佐市立保育所設置条例の一部改正について（乳幼児の一時預かり事業）	文教福祉	〃
議第67号	宇佐市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について	〃	〃
	「議第67号」に対する修正案について	-	否決
議第68号	宇佐市消防団員の定員、任免、服務、給与等に関する条例の一部改正について	総務	原案可決
議第69号	工事請負契約の変更について（新庁舎外構工事に係る変更）	〃	〃
議第70号	損害賠償の額の決定について	文教福祉	〃
議第71号	令和3年度宇佐市一般会計補正予算（第4号）	文教福祉・産業建設	〃
議第72号	宇佐市教育委員会委員の任命について	省略	原案同意

○請願

提出者	内容	結果
請願第1号	「少人数学級実現」、「義務教育費国庫負担制度堅持・教育予算拡充」を求める意見書採択の請願書	採択

○意見書案

提出者	内容	結果
意見書案第1号	「少人数学級実現」、「義務教育費国庫負担制度堅持・教育予算拡充」を求める意見書	原案可決
意見書案第2号	2021年度大分県最低賃金の改正等に関する意見書	〃

教育委員会委員の任命に同意
小野裕美子氏
(安心院町古市)

議員定数に関する調査特別委員会（10人）

◎大隈尚人 ○河野睦夫
高橋宜宏 井本裕明
辛島光司 林 寛
多田羅純一 今石靖代
和気伸哉 浜永義機

◎は委員長 ○は副委員長

選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙の結果

〔委員〕

高橋明博氏（長洲）
加藤邦昭氏（上矢部）
上鶴則満氏（安心院町大佛）
小野達夫氏（院内町高並）

〔補充員〕

矢口孝芳氏（岩崎）
原田芳文氏（赤尾）
勝尾 修氏（安心院町折敷田）
中原英喜氏（院内町平原）

常任委員会の審査結果

総務常任委員会 (6月18日 審査)

番号	件名	結果
議第60号	令和3年度宇佐市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議第63号	宇佐市固定資産評価審査委員会条例等の一部改正について	〃
議第64号	宇佐市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	〃
議第68号	宇佐市消防団員の定員、任免、服務、給与等に関する条例の一部改正について	〃
議第69号	工事請負契約の変更について(新庁舎外構工事に係る変更)	〃
請願第2号	日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書提出の請願	継続審査

文教福祉常任委員会 (6月17日 審査)

番号	件名	結果
議第59号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度宇佐市一般会計補正予算(第2号))	原案承認
議第60号	令和3年度宇佐市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議第66号	宇佐市立保育所設置条例の一部改正について(乳幼児の一時預かり事業)	〃
議第67号	宇佐市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について	〃
	「議第67号」に対する修正案について	否決
議第70号	損害賠償の額の決定について	原案可決
議第71号	令和3年度宇佐市一般会計補正予算(第4号)	〃
請願第1号	「少人数学級実現」、「義務教育費国庫負担制度堅持・教育予算拡充」を求める意見書採択の請願書	採択

産業建設常任委員会 (6月17日 審査)

番号	件名	結果
議第60号	令和3年度宇佐市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議第61号	令和3年度宇佐市水道事業会計補正予算(第1号)	〃
議第62号	令和3年度宇佐市下水道事業会計補正予算(第1号)	〃
議第65号	宇佐市スポーツ施設条例の一部改正について(はちまんの郷グランドゴルフ・テニスコート)	〃
議第71号	令和3年度宇佐市一般会計補正予算(第4号)	〃

市政一般に対する質問

子育てや教育の充実等について



若山雅敏 (市民れんごう)

問① 給食費の負担を感じる保護者の声を多く聞く。子育て支援策として、多子世帯などの支援はできないか。

答 本市は学校給食法に沿い、食料料費を給食費として保護者負担としている。しかし、子ども子育てニーズ調査で、給食費の経済的支援を望む声も把握しており、今後、多子世帯への支援について調査研究していく。

問② 障がいがある子もいない子も、一緒に遊べるインクルーシブ公園の設置を推進すべきではないか。

答 共生社会の実現に向け必要な対策と考え、今後、先進事例等を踏まえ、インクルーシブの理念に基づいた公園遊具等の導入や整備について考えていく。

問③ ふるさと応援寄附金は、財源に充てる事業などを明確に示し、市民や寄附者への理解を

深めて取り組むべきではないか。

答 市民が実感でき、寄附者にも理解しやすい事業活用とするために、庁内連携を深め事業選択を行う。多くの市民や団体を通じ、取り組み強化に努め寄附額の増加を図る。

問④ 小中学校の教職員等の配置に欠員が生じている状況だが、その課題解決に向けた市教委の取り組みは。県教委等に対して働きを強めるべきではないか。

答 全県的に教員免許保有者が不足していることが課題であり、県教委に対しても課題解消を求めている。また、コロナウイルス感染症対策やアフターコロナにおいても教職員の業務負担を軽減していくため、スクールサポートスタッフの継続及び拡大を要望していく。

問⑤ 平成令和の森スポーツ公園陸上競技場の金網フェンスが低く、サッカー競技時にボールが走行中の車両に当たる事故がある。改善すべきではないか。

答 早急に現地調査を行い改善に向け検討していく。

住みよいまちづくりについて



吉田泰秀 (求道会)

市政一般に対する質問は、本紙では一部を掲載していますが、詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

問① 新型コロナウイルス感染症の第4波の影響により、全国的に飲食店は時短営業など厳しい状況になっているが、漁業関係者においても水産会社の買い控えや魚価の低下により、更に苦しい現状にあるという話を聞くと、何か支援ができないか。

答 漁業者から実情を詳しく伺うとともに、国・県・他市町村の支援策などの情報収集を行い、どのような支援ができるのかを検討していく。

問② アサリ貝復活について。

答 3月31日に鹿児島大学の西教授がドローンによる海の調査を行ったが、その調査結果はどうなっているのか。

答 鹿児島大学・大分大学と地形や底質の調査解析を行う。

問③ アサリ貝復活に向けて今後の計画はどうなっているのか。

答 干潟環境改善事業で市内4カ所の干潟調査を実施する。

問③ 修学旅行について。

答 千潟環境改善事業で市内4カ所の干潟調査を実施する。

問④ 昨年度、宇佐市に修学旅行を目的に訪れた学校はどれくらいあるのか。

答 受入件数は126件、5,198名で、県内120件、県外6件となっている。

問⑤ 宇佐市には宇佐神宮や戦争遺跡、広瀬井路などその他にも歴史を学べる場所があるので、それらを活用して修学旅行などで宇佐市に来てもらえるようPRをしてはどうか。

答 訪れていただけよう旅行会社等と連携を深めていく。

問⑥ 学校給食に関して保護者から量が少ないという声を聞き、それに関してメニューの見直しや量を増やすなどの対策を検討できないか。

答 今後も学校等と連携しながら、児童生徒の満足度向上に向けて内容の充実に努める。

問⑦ フォレストアドベンチャーという大自然を活用した施設があるが、宇佐市の自然を利用して誘致してはどうか。

答 先進事例の調査を含め、設置の可能性について調査研究していく。

児童・生徒への性暴力を防げ！



高橋宜宏 (至誠会)

問① 毎日のように報じられる教職員のわいせつ事件。市の教職員が事件を起こしたことは。またどのような対策を講じてきたのか。

答 市内の教職員がわいせつ事件を起こした事案はない。対策については、校長会等の場において、服務規律の遵守について指導している。各校において「スクールセクハラ防止委員会」を設置し、対策を協議している。

問② 県教委の範囲ではどうかあるのなら、その内容と件数は。

答 ここ10年で13件。わいせつ行為や盗撮が主な内容だ。

問③ 懲戒免職で教員免許が失効した教員は、官報に掲載しなければならぬが、全国で官報不掲載が多く判明している。大分県教委はどうか。

答 文科省は公表していない。

新聞報道では大分県は入っていないようだ。

問④ 県教委採用試験には、履歴の記入欄は。あるなら具体的な記入も求めているのか。

答 今年度の公立学校教員採用試験の中にはない。

問⑤ 具体的な処分理由の記入を求める所も多い。大分県教委へ上申しもらいたい。

答 国もデータベースを進めるようなので、それを活用することになると思う。県教委へ伝えたい。

問⑥ 教員のわいせつ事件で重要なことが三点ある。一点目は児童生徒への調査やSNSの私的なやりとり。密室での一对一の指導を避ける。二点目は被害の相談を受け付ける「第三者機関」の設置。三点目は新法では、都道府県教委に免許の再交付を拒否できる裁量権が付与されているが、乱用にならないよう基準を示すべき。以上を県教委へ上申しもらいたい。

答 早期発見のため、私的なSNSの使用や密室での一对一の指導等は市教委でも指導している。また「第三者機関」の設置も必要だと考えるので、県教委へしっかりと伝えたい。

生活を守り、希望を創る



辛島光司 (光りの会)

問① 新型コロナウイルスワクチン接種について。
 (1) 特に女性の方が副反応を心配している。接種後、体調不良など副反応の報告は。
 答 発熱・部位の疼痛・頭痛など、14例報告されている。相談については、かかりつけ医や県の相談窓口。
 (2) 園・小・中学生の子どもたちへの影響や問題点は。
 答 準備してきた様々な行事が中止となり、貴重な思い出となる機会が失われている。何がしかのフォローができないものかと、心を痛めている。
 (3) 屋外・野外の行き場が求められている。宇佐市の自然を活かしたアスレチック施設や遊び・憩いの場を計画的に整備してはどうか。
 答 アウトドア志向へとシフト

していると認識している。施設の計画的な整備、リニューアルに努めていく。
 問② 豪雨による影響で、近年水没が確認された道路は。
 答 沈み橋が2カ所、山下地区の高速道路の下を通る道路、下麻生地区のいろは川沿いの道路の冠水を把握している。
 問③ 黒地区の「天福寺奥の院」の木彫仏群（もくちようぶつぐん）は、国指定重要文化財である。地域の方の協力により、トレッキングコースとして整備されてもいる。県道660号は、地域の生活道路でもあるが道幅がとも狭い。県に対して、強く要望を行い、協議が必要では。
 答 現在、山下地区から拡幅工事を実施しているが、別途、奥の院周辺からの整備を要望・協議していきたい。
 問④ 三和酒類株式会社が来年の5月に、醸造体験施設をオープンさせる。日本で最初に清酒特区の認定を受けた宇佐市として、積極的な支援や協力が必要では。
 答 観光施設の目玉となり得る施設だと期待している。市として、広報や事業連携など幅広く協力して盛り上げたい。

市政一般に対する質問

ワクチン接種・環境・防犯



衛藤義弘 (公明党)

問① ワクチン接種状況の現状。
 (1) 接種会場の確保と医療関係者の接種状況、医師会との連携は。国の負担金は十分か。
 答 接種会場の確保に苦慮。6月上旬に完了。専門委員会を組織し医師・看護師の確保や緊急対応を協議。国から財政支援が示され今議会に提案している。
 (2) 予約が困難な現状と病院や会場に行けない方の対応は。介護従事者や入所者の接種はどうなっているか。
 答 現在は落ち着いている。行けない方は往診で対応。介護関係は6月中で2回目終了する。
 (3) 余ったワクチンの対応は。
 答 県の通知で、順位は医療、高齢者、基礎疾患、60歳以下としている。
 (4) 市内の外国人接種は。
 答 商工会議所等と検討する。

問② 誹謗中傷や差別に対し、「宇佐市思いやり条例」の施行が必要ではないか。
 答 「部落差別等を撤廃し人権を擁護する条例」を制定しており、対応できると考えている。
 問③ 環境の配慮について、空き缶、紙くず、プラスチックごみなど、みだりに捨てる「ポイ捨て」の問題で地域が困っている現状がある。全国の多くの自治体で条例を制定しているの制定すべきでは。
 答 重要な行政課題である。環境意識向上のため、条例制定に向け、調査研究する。
 問④ ハトなど鳥類対策に猫を寄せ付けない超音波機器を利用している。実験の結果、効果があったので、取り組んでみては。
 答 効果的な対策発見の一助となればと考えている。
 問⑤ 市民の安全・安心、防犯、災害時のために、路面に蓄光ブロックパネルを計画的に設置するよう予算を確保すべきでは。
 答 夕方から浮き出るように発光し加工が容易なため、蓄光材を活用した安全対策を講じたい。
 問⑥ 空き家補助金を市内転居者まで拡大をすべきでは。
 答 目的・効果を検証したい。

市独自の啓発看板を



多田羅純一(市民れんごう)

市政一般に対する質問は、本紙では一部を掲載していますが、詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

問① 交通安全啓発について。
 (1) 標識のない狭い市道・規制のない農道においてスピードが出ている車両が見受けられ、地域から危ないとの声を聞く。現在どのような制度があるのか。
答 警察や道路管理者と連携しながら、カーブミラーやガードレール等の交通安全施設や交通事故発生現場への看板設置を行っている。
 (2) 市独自の飛び出し注意や速度注意等の看板を作成し、交通安全啓発をしてはどうか。
答 運転手への注意喚起は、道路交通の安全性の確保に有効と考える。看板の設置に向けて、関係機関や団体と協議していく。

問② マリンスポーツの推進について。和間海浜公園で、カイトボード(カイトサーフィン)など多くの方々にマリンスポーツやキャンプ等を楽しめるように整備してはどうか。
答 市民ニーズを把握しながら公園施設等の充実を図り、魅力ある海浜公園となるよう調査研究を行う。
問③ 消防団員の人員不足について。
 (1) 地域の防災を守るため、人員不足解消に向けた取り組みは。
答 広報紙や市ホームページなど各種媒体を活用し、団員募集をしているほか、団員自ら地域住民に入団の働きかけなどを行っている。
 (2) 60歳になると退職する方が多いと聞くが、課題があるのか。
答 60歳以上の団員の方は、個人的に体力的な問題や仕事の関係などで退団される場合が多い。今議会で、入団要件を18歳以上60歳未満の者から、18歳以上の者に改める提案をしている。
問④ 企業誘致について。工業誘致や商業誘致等、他市に劣らない優遇制度はあるか。
答 企業誘致について、県内ではトップクラスの優遇制度を設けているが、商業誘致に対する優遇制度は設けていない。市民が期待する商業施設はどんなものなのか調査研究をしていく。

誰もが安心して暮らせるために



川谷光紹 (求道会)

問① 地域のために。
 (1) 施政方針にある「集中から分散」は、どう具体化するのか。
答 「ふるさと副業実証試験事業」で、専門的な能力をもった人材の確保に悩む市内の企業と、都市に住む専門家のマッチングを促進する。また、「おてつたび商品造成支援事業」により、大学生が宇佐市で農業体験ができるように大手航空会社とタイアップしたい。
 (2) 移住者だけでなく、市内在住者にも住宅の新築や購入の後押しとなる制度を検討しては。
答 市内在住者に対する住宅取得支援として、空き家バンク制度や、子育て世帯や高齢者世帯のリフォーム支援制度があるが、市外転出を抑制する効果が期待できると考えるので、他市の状況も含め調査研究する。
問② 子どもたちのために。
 (1) 小中学校での教員やサポースタッフ、学習指導員の配置は十分にできているか。
答 本来必要な配置ができていないので、教員免許をお持ちの方はずいぶん協力してほしい。
※その他の質問
 ・合併処理浄化槽について。
 ・ツーリズムの連携について。
 ・高校生の通学支援について。

(3) 国営かんがい排水事業地区調査の事業採択に向けての取り組み状況と課題は。
答 令和元年度に小学校区ごとに事業説明会を、令和2年度から営農振興計画の素案策定のため集落座談会を開催しているが、コロナウイルス感染症対策のために遅れている。令和5年度を目標としていたが、現在のところ未定となっている。
 (4) お盆での帰省者や成人式の参加者のために、規模を縮小して「うさ抗原検査センター」の設置期間を延長しては。
答 6月6日現在で、1520人が利用し、市外の方3人が陽性となった。無症状者による市中感染を防ぐことができたので、期限の延長について関係機関と協議したい。

ワークライフバランスの推進に向けて



河野健治朗（政友会）

問① 個別接種予約が取りにくい状況が続いているが、現在までの接種状況をどこまで把握しているか。

答 予約が取りにくかった点は、5月はワクチンの供給が少なかつたためと思われる。県によると6月以降は供給も潤沢になり、医療機関の希望数の配送ができるようになるが、医療機関に対して側面的支援を行っていく。

問② 宇佐市新型コロナウイルス感染症対策支援サイトは、市外に住む家族も注視している。年代別の進捗状況や接種率など、詳しい情報を公開できないか。

答 現在の接種状況は国の統一システムで管理されている。今後準備が整い次第、区分ごとの進捗状況や接種率を公開していく。

問③ 抗原検査センターの運営延長を期待する声があがっている。

答 人の往来を考えると、お盆の帰省や成人式に合わせ、8月末までの延長はできないか。

答 7月以降の取り扱いについては、6月中旬までの利用状況や市内の感染状況等を考慮し関係機関と協議していく。

問④ 放課後児童クラブの運営については、低学年の受け入れしか対応できないと聞く。現在、6年生までの受け入れができていない施設はどのくらいあるか。

答 6年生の在籍がない9クラブ。待機児童は発生していない。

問⑤ 児童クラブの支援員確保がうまくいかないクラブが多いようだが、人材の支援が必要と思うが、市の対応は。

答 各クラブが求人を出したり知人に声掛けをしている。また、県が運営している保育士就業支援サイトでは、本年4月からマッチングができるようになった。

問⑥ 市が行っているサテライトオフィス推進事業の現在までの進捗状況は。

答 問合わせはないが、事業周知に工夫をし、今後は受け皿も必要となるので、市内不動産会社に情報提供をお願いしていく。

4年後の宇佐市の姿とは



和氣伸哉（求道会）

問① 全ての市民の方が、ワクチン接種を終える時期はいつ頃を予定しているのか。

答 国が示す11月ぐらいまでを予定しているが、国からのワクチンの供給量が落ちれば、11月では終わらない。

問② 県外や市外の移住者に対して本市は手厚い補助を準備しているが、市内在住者への定住支援策はない。移住目的の転出者数の把握はできているか。また、市内在住者の子育て世帯の新築補助に10万円、市内業者に発注した場合に10万円、さらに小規模集落に新築した場合に10万円の補助金を提案する。

答 移住を理由に転出した数は把握していない。

問③ 警告シールが貼られたゴミを出した方がわからないゴミの処理方法は。

答 分別ができるまで、そのままの状態とすることがある。対応に苦慮しており、長期間放置され収集業務に支障がある場合は市が回収することもある。

問④ 以前から取り上げてきたお悔やみ窓口の開設が、いまだに開設できない理由と課題は。

答 6月1日から本庁舎1階、市民課北側の窓口にて試験的運用を開始した。

問⑤ 是永市長は12年ぶりの選挙を振り返ってみてどう感じたか。

答 市民の皆様を選択肢ができてよかったと思う。これまでの地道な取り組みや公約などが評価されたと思っている。

問⑥ 4期目では何を実行していくのか。

答 社会増減のプラス、ふるさと納税の10億円突破、住みたい田舎ランキング首位奪還を実現する。

問⑦ 是永市長が描く4年後の宇佐市の姿とは。

答 地方自治体が抱えている様々な問題と時代の変化に柔軟に対応し、生き残れる姿を描いている。そのために具体的な施策を掲げ、的確に対応していく。

防犯灯や見守り灯の更新に補助



中本 毅 (令和新政会)

問① 防犯灯や見守り灯について、設置だけでなく更新にも補助を望む声を耳にするが、市の考えは。

答 市では、安全で安心なまちづくりを推進するため、防犯灯の設置を行う自治会に対して設置費用の補助を行なっており、平成24年度からは防犯灯のLED化を促進している。

本事業開始から9年が経過し、議員指摘のとおりLED防犯灯の取替えに対する問い合わせも寄せられていることから、LED防犯灯の更新も補助の対象とする方向で検討したい。また、道路照明灯の光が届かない場所や道路施設としての設置が困難な場所については、自治会からの要望により見守り灯を設置する事業を行なっている。本事業については、電気使用料は要

市政一般に対する質問は、本紙では一部を掲載しますが、詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

があつた自治会に負担をお願いしているが、修繕や更新については市が行なっている。

問② 大分空港が水平型宇宙港化を進めている。これを宇佐市におけるSTEAM(STEM)教育、つまり創造性を生かす理数教育の題材の1つとしては。

答 STEAM教育は、サイエンス(科学)、テクノロジー(技術)、エンジニアリング(工学)、アート(芸術)、マセマティックス(数学)など各教科の学習を実社会での問題発見・解決に生かす教科横断的な教育であり、新学習指導要領が目指す育成したい力とも重なるものである。今回の大分空港の宇宙港化は、将来的にもさまざまな可能性を秘めており、実現に向けた動きに注目している。市教育委員会として、各学校で必ず取り扱うことは考えていないが、この宇宙港化によって「何ができるようになるのか、どんな未来になるのか」について総合的な学習の時間で調べたり、議論したりすることを通して実社会に結びつけるなど学習素材の一つとして有効なものである。

医療費は高校生等まで完全無料化を



今石靖代 (日本共産党)

問① 子どもの医療費助成。

問② 今議会に高校生等まで助成を拡大する提案がされ、大きく前進する。県下で無料化が進む中、当市は通院費について一部負担があるのはなぜか。完全無料とすべきだが。

答 無料化による過剰受診を防ぐことで、小児救急体制への影響や小児科医療体制の維持、医師の負担軽減を図りたい。

問③ 1回500円とはいえ、1医療機関ごとなので、病気がちな子どもや多子世帯ではかなりの負担になる。安心して通院し、早期発見・早期治療のためには豊後高田市や由布市のように完全無料にすべきだが。

答 医療現場や母子保健関係者から意見を伺ったうえで助成の拡大を図るもの。

トレーニグセンター建て替えについて概要や着工時期は。

答 2018年に地元区長らから、多世代交流や憩いの場、防災拠点の機能を持つ北部複合施設(仮称)として整備するよう要望を受けた。4月には市内に関係部課長15人で構成する検討委員会を設置し協議を始めていく。基本構想をしつかり作り、建設時期を判断したい。

問③ 新型コロナの終息が見えない中で、「生活保護は権利」であることを周知徹底し申請の障害になつている扶養照会や車の制限については柔軟な対応を。

答 扶養照会については国より通知があり、柔軟な対応ができるようになった。適切な運用に努めていく。

問④ コロナ不況から漁業者を守るために、せめて昨年実施した賦課金補助の検討を。

答 どのような支援ができるのか協議していく。

問⑤ 宇佐市の農業経営体は5年前から約3割減つている。県は農業非常事態宣言を発して対策会議を開いている。コロナも重なつているので支援を。

答 保険制度の周知と加入者の拡大に努めていく。

豊川小学校の増改築の早期解決を



赤野道和（日本共産党）

問① 豊川小の増改築について。
 (1) 用地取得の補正予算が提案されているが、その後の計画は。
 答 令和6年度の完成をめざして取り組みたい。
 (2) 昨年度・今年度と一年生が入っているプレハブは、春・夏・秋に室温がすぐ上がっている。この状況をいつまで続けるつもりなのか。
 答 今年度は、気温の上昇には対応できると考えている。状況が改善されなければ臨機に対応する。仮設校舎の使用は完成までの間、必要と考えている。

問② 宇佐市内の酪農農家へもっと支援を。
 (1) 宇佐市に合併して16年が経過したが、酪農農家の変遷は。
 答 平成17年度は11戸の農家で520頭が飼育されていたが、22年度には6戸、27年度には4戸、令和2年度には1戸、飼育頭数107頭となり、農家数、飼育頭数ともに減少している。
 (2) 今後の市の酪農農家への支援の展望は。
 答 飼養規模の拡大を推進するとともに、管理技術の改善や新技術の導入による経営の改善を図り、収益の向上に取り組みながら、長期にわたり持続可能な酪農経営が行えるよう関係機関と連携し取り組んでいく。
 問③ 無症状者に焦点をあてた大規模検査で新型コロナウイルス感染を封じ込めてほしい。「うさ抗原検査センター」の延長を、ぜひ検討してもらえないか。
 答 現在、継続を検討しているところである。
 問④ 2019年9月、社会教育集会所の中学生・高校生学級として、臼杵市の「旧同和地区」見学を実施している。こうした学習内容は、差別解消に逆行するものであり、社会教育としては中止すべきではないか。
 答 「部落差別の解消の推進に関する法律」の付帯決議を真摯に受け止め、新たな差別を生むことのないよう、学習に当たっては、内容、手法等に配慮したものとしている。

スポーツ施設を利用しやすい環境へ



河野睦夫（政友会）

問① 新型コロナウイルスにワクチン接種状況について。
 (1) ワクチン接種状況は。
 答 6月14日現在で、延べ14,374人が接種している。集団接種は、7月11日までの予約が埋まっている状況である。
 (2) 問題点と今後の対策は。
 答 集団接種の人員体制があげられ、予定の倍の人数で対応しており、現在スムーズに行われている。

(3) かかりつけ医で接種を希望する方が多く、接種の時期がかなり遅れる方がいると思うが対策は。
 答 予約の多いかかりつけ医には、集団接種を勧めているが、やはり高齢者の方は、かかりつけ医を希望する方が多いようである。
 問② コロナ禍における地域支援合い活動について。
 (1) 生活応援通所事業の委託事業所への感染対策支援は。
 答 国の事業で、感染症緊急包括支援事業による慰労金が支給されている。
 (2) 受託事業所にも指定介護事業所と同等の支援金の支給はできないのか。
 答 早く対応するべきではあったが、今年度、地域支援事業交付金を活用して対応する。
 問③ はちまんの郷テニスコートとグランドゴルフ場の管理について。
 (1) テニスコートは、以前から早朝練習としての利用が可能であった。特に夏場等の熱中症対策の観点からも引き続き利用できる環境にしてはどうか。
 答 市のスポーツ施設としての管理となるが、早朝練習等の話も聞いていたので、競技団体と協議し柔軟に対応したい。
 (2) グランドゴルフ場は公認のコースでもあり、市営化することで利用者が減るようなことのないよう対応してほしいが。
 答 利用しやすい環境となるよう協議団体と連携していく。

全国市議会議長会 の永年表彰

令和3年5月に開催された全国市議会議長会の第97回定期総会において、6名の方々が永年表彰を受けましたので、6月24日の本会議で伝達式を行いました。

- 浜永義機氏 (在職25年以上)
- 永松 郁氏 (在職25年以上)
- 衛藤博幸氏 (在職20年以上)
- 井本裕明氏 (在職10年以上)
- 河野康臣氏 (在職10年以上)
- 後藤竜也氏 (在職10年以上)



全員協議会の内容

6月の定例会において全員協議会を開催し、次のことを申し合いました。

- 各常任委員会の研修は新型コロナウイルス感染症のため、今年度は中止とする。また、議員が個人で行う研修は自粛とする。ただし全国や研修先の状況などから可能な場合は実施できるものとする。
 - 令和3年度からタブレットによるペーパーレス議会の本格実施により、議案書の配付や各種通知の郵送はしない。
 - 議会におけるクールビズについて、5〜10月末まではノーネクタイとする。
 - 高校生議会について、新型コロナウイルス感染症のため、今年度は中止とする。
- ※全員協議会とは、議員全員で構成する議会の運営を円滑に行うための協議や調整の場です。

議会活性化特別委員会 メンバー紹介

今号から新しいメンバーで広報紙「うさ議会」を編集します。

市民の皆さまにもっと議会に興味を持ってもらうため、議員の立場から議会報告を行う重要な役割を持っています。わかりやすい内容を心がけて、年4回開催される定例会ごとに発行していきますので、ご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。



川谷光紹
辛島光司
赤野道和
若山雅敏
多田羅純一
河野健治朗
吉田泰秀
和気伸哉
河野睦夫

編集後記



毎日、暑い日が続くうちに、コロナの影響によりマスクを着用しなければならなく大変厳しい時です。感染予防の継続と、こまめな水分補給に心がけ、熱中症にかからないよう注意をお願いいたします。

5月臨時会にて、議長・副議長と各常任委員会、特別委員会等の入れ替えを行い、本紙を編集する議会活性化特別委員会委員も新たなメンバーでの取り組みとなります。

また、4月の市長選挙に立候補した後藤竜也前議員と、約1年闘病され5月にお亡くなりになられた河野康臣元副議長の2名が欠員となり、議員定数23名に対し21名での議会構成となっています。議会の傍聴も感染防止のため現在もまだできませんが、以前のように傍聴できる日が早く来ることを願っています。

今後におきましても皆さんの意見を取り入れ、議会の見える化、議会や議員の活動報告を更に身近に感じてもらえる広報紙として、分かりやすい編集をしてまいりますのでこれからもよろしくお願い申し上げます。
(多田羅純一)

《9月定例会の予定》

- 8/31 (開会日) 提案理由の説明
- 9/7~10 一般質問
- 9/14 議案質疑
- 9/15 常任委員会の審査 (総務・産業建設)
- 9/16 常任委員会の審査 (文教福祉)
- 9/24 (閉会日) 委員会の審査報告 質疑、討論、採決

※新型コロナウイルス感染症に伴い入場の制限がある場合があります。